



しもながや

令和5年5月30日 発行

横浜市立下永谷小学校

「自分の言葉で伝えるということ」

副校長 酒井敏雄

みなさん、こんにちは。

今月の学校便りを担当することになった、副校長の酒井です。

6月になり、すっかり暑くなってきましたが、皆さん元気に過ごしていますか。

夏休みまであとわずかですが、学校では皆さんの成長をしっかりと見届けるためにたくさんの学習やイベントを企画しています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大も心配ですが、感染症対策をしっかりと行いながら、学校生活をより充実させていくことを目指しています。

みんなで協力し、楽しい夏休みを迎えるためにも、まずは健康管理に気を付けましょう。

本校の学校便りを通じて、様々な情報をお届けしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

上の文章は、「学校便り」「小学校」「6月号」「挨拶」というキーワードをもとにAI（人工知能）が考えた文章になります。読んでみてどのように感じましたか。文章を作成できてしまうAIのすごさに感心します。ただ、何となく文章として成り立っているように感じますが、表面的な文章だけで内容が薄っぺらな感じもします。

今、様々な分野でAIが取り入れられ、これまで人間の力だけでは時間がかかったことが短時間でできるようになるなど便利さが増えました。しかし、相手に自分の思いを伝えたりお願いをしたり、時には謝ったりするときには自分の言葉でしっかりと伝えないといけないと感じます。子どもたちと話している中で、私に伝えようとしてはいるのですが言葉が抜け落ちてしまい、こちらが何度も確認をしながら内容をくみ取る場面がありました。一生懸命話をしているため、聞き取ってあげたいと思うのですが、子どもたちも伝わらないもどかしさがあったかもしれません。自分の思いを伝え合う大切さを学習することで、学び合う楽しさも実感できるよう学校でも取り組んでいきます。